

さあ、保険の新次元へ。

Try & Discover

T&D 保険グループ

株式会社 T&Dホールディングス
(コード番号 8795 東証第一部)

2019年9月8日

1. T & D 保険グループの概要	P. 3
2. グループ生命保険 3 社の特徴	P.12
3. 中期経営計画（2019年度～2021年度）・業績動向	P.22
4. 株主還元	P.29
5. まとめ	P.32
6. 参考資料	P.34

1 . T&D保険グループの概要



株式会社 T&Dホールディングス

証券コード	8795
市場	東証一部
決算期	毎年3月31日
売買単位	100株
総資産額（連結）	15兆7,947億円（2019年3月期）
当期純利益（連結）	728億円（2019年3月期）
2019/8/23 終値 株式時価総額	1,030.5円 6,749億円 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">▶ 参考 株式時価総額ランキング（P44）</div> （金融機関時価総額順位17位／上場全銘柄184位）
2019年3月期 1株当たり配当金	42.0円（うち中間配当20.0円）
2020年3月期 1株当たり配当金（予想）	44.0円（うち中間配当22.0円）
直接子会社	太陽生命保険 大同生命保険 T&Dフィナンシャル生命保険 T&Dユナイテッドキャピタル（2019年7月1日に事業開始） T&Dアセットマネジメント ペット&ファミリー損害保険（2019年4月1日に、少額短期 保険から損害保険会社へ移行）
従業員数（連結）	19,489名（2019年3月末）
ホームページ	https://www.td-holdings.co.jp/ 



うえはら ひろひさ
代表取締役社長 上原 弘久

T&D T&D保険グループのあゆみ

T&D保険グループ

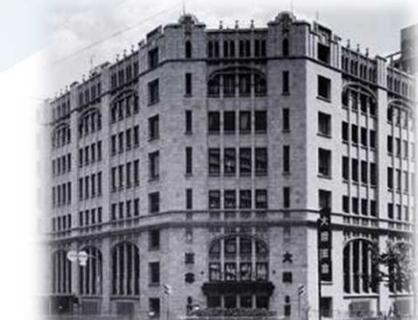
■ 創業100年を超える太陽生命・大同生命の 全面的業務提携により、T & D 保険グループが発足



太陽生命旧本社(東京都)
1930(昭和5)年竣工

 **太陽生命**
1893(明治26)年 創業

1902(明治35)年 創業
 **大同生命**



大同生命旧肥後橋本社 (大阪府)
1925(大正14)年竣工



1999(平成11)年
T&D保険グループ発足

太陽生命と大同生命が全面的な
業務提携を発表、グループ名称を
「T & D 保険グループ」に決定

2001(平成13)年 T&D保険グループ入り

 **T&Dフィナンシャル生命**



2002(平成14)年
グループの資産運用会社を集約
T&Dアセットマネジメント

2004(平成16)年 設立
株式会社 T&Dホールディングス



日本で初めて生命保険事業を
中核とする持株会社を設立
し、東京証券取引所と大阪証
券取引所(現 大阪取引所)に
上場

2019(令和元)年6月
T&Dユナイテッドキャピタル
設立

2007(平成19)年 子会社化
 **ペット&ファミリー**
損害保険株式会社

グループ経営理念

Try & Discover（挑戦と発見）による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営ビジョン

お客さまからの視点

私たちは、最優の商品・サービスの提供により、お客さま満足度のトップを目指します。

株主・投資家・市場からの視点

私たちは、成長に向けた新たな挑戦により、安定的・持続的に企業価値を向上させ、確固たる存在感のある保険グループを目指します。

- 2019年4月にT&Dホールディングス設立15周年を迎え、新たな中期経営計画の達成に向けて、グループブランドメッセージを策定

さあ、保険の新次元へ。

私たちがつくりたいのは、
保険だけではない。
保険を超えて、
誰もがリスクを恐れることなく
可能性を豊かに広げていける未来だ。
どんな変化の時代にあっても、
誰もが希望を抱ける社会だ。

一人ひとりが
Try & Discoverの精神をもち、
あたらしいことを、つぎつぎと。
私たちT&D保険グループなら、
きっとできる。

さあ、保険の新次元へ。

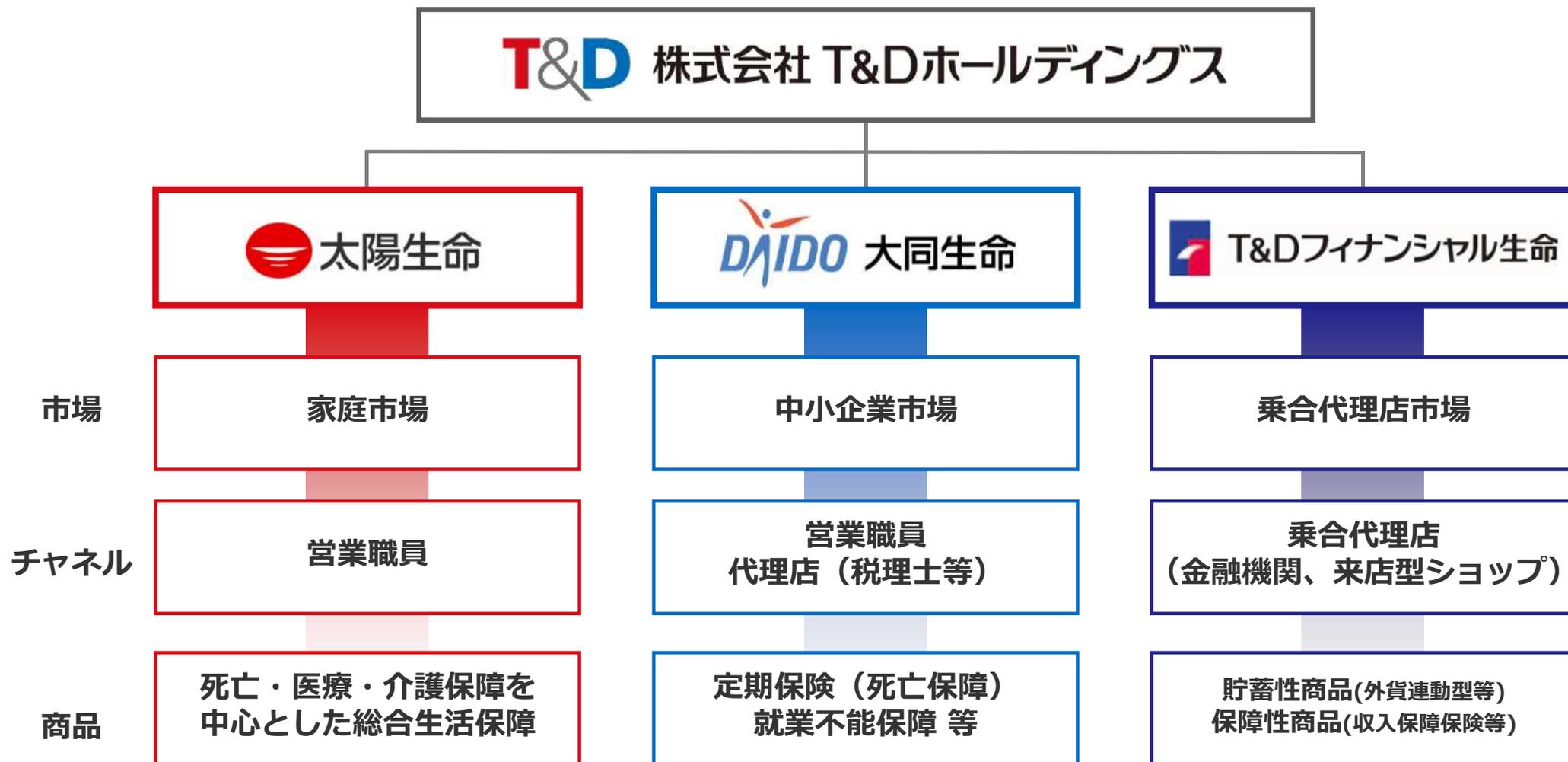
T&D 保険グループ

Try & Discover（挑戦と発見）の精神を持ち、従来の概念にとらわれない柔軟な発想で未来に向けて新たに挑戦してまいります

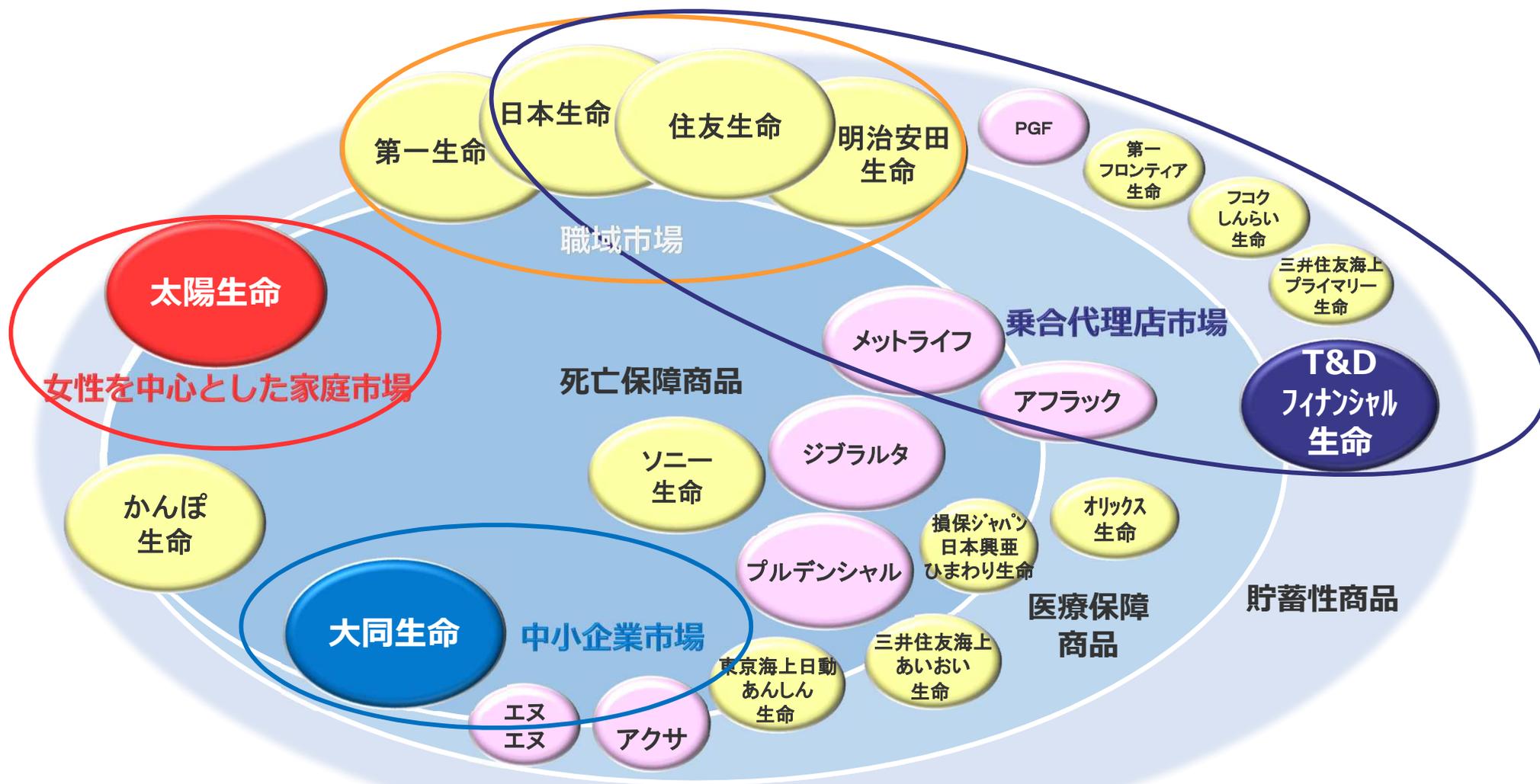
T&D T&D保険グループの事業モデルと強み

T&D保険グループ

異なる「市場」「チャネル」「商品」を持つ、中核生命保険会社3社による「独自性」「専門性」の高さがT&D保険グループの最大の強み

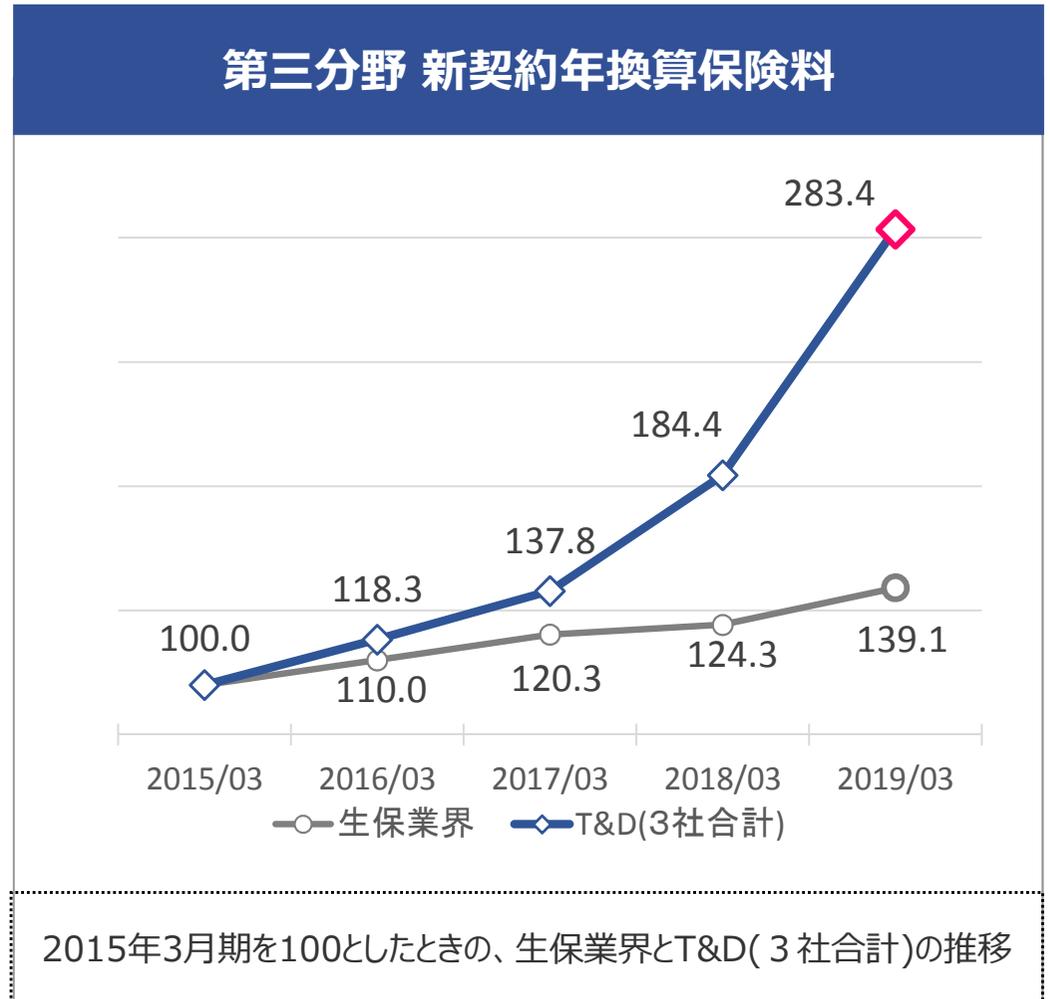
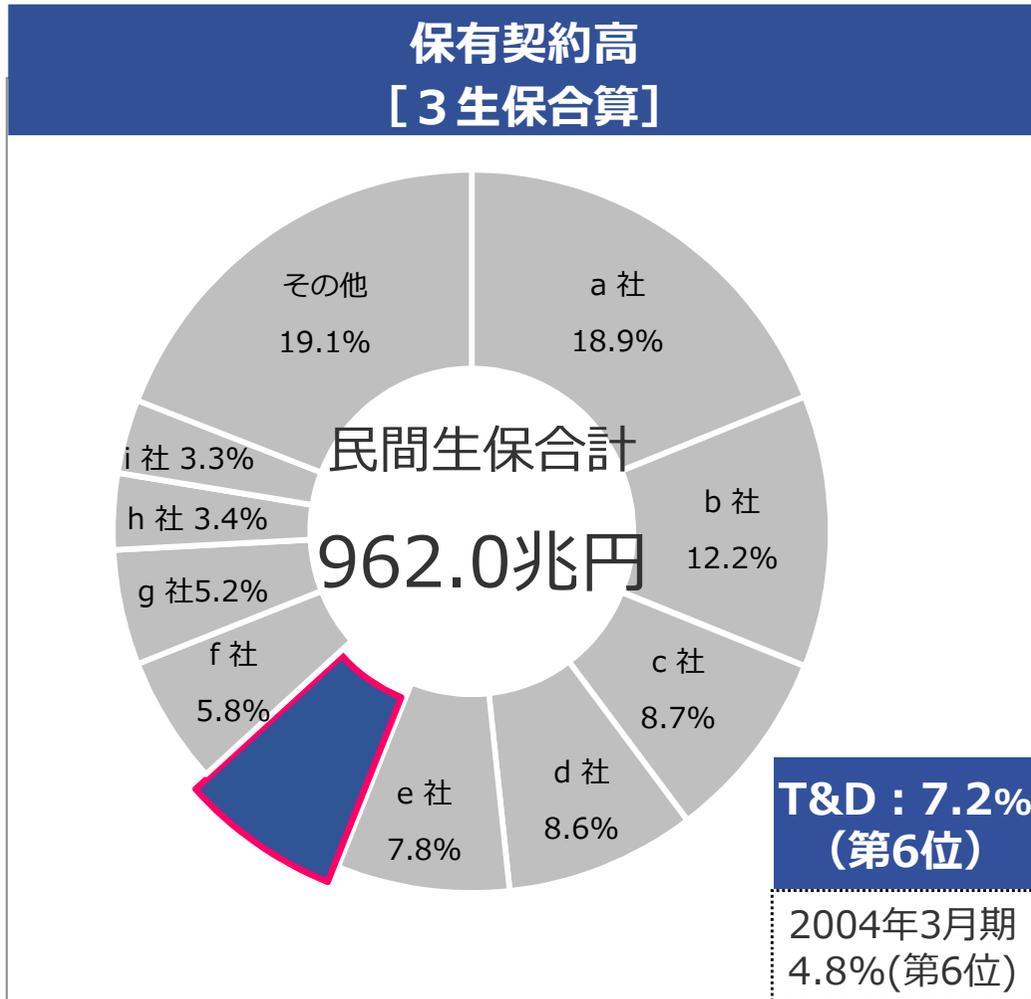


■ 中核生保 3社は潜在成長性の高い市場に注力



* 当社作成のため、各社の認識と異なる場合があります。

■ 生命保険市場で確固たる地位を確立



* 各社決算資料より当社作成。保有契約高は、個人保険、個人年金保険及び大同生命のJタイプ、Tタイプ、介護リリース等の合計。

■ 中核生保3社ともに高い健全性を維持

	ソルベンシー ・ マージン比率*1	格付*2
T & D ホールディングス	1,093.1%	AA-
太陽生命	849.7%	AA-
大同生命	1,271.9%	AA-
T&D フィナンシャル生命	1,101.7%	AA-

*1 2019年3月末現在。T&Dホールディングスは連結ソルベンシー・マージン比率

*2 2019年2月14日現在

T&Dホールディングスは、JCR(日本格付研究所)による長期発行体格付
生保3社は、JCR、R&I(格付投資情報センター)による保険金支払能力格付

JCR	長期発行体格付	AA-	債務履行の確実性は極めて高い
		AA-	保険金支払能力の確実性は極めて高い
R&I	保険金支払能力格付	AA-	保険金支払能力は極めて高く、優れた要素がある

2. グループ生命保険 3 社の特徴



- 「100歳時代を先取りした商品・サービス」をご家庭にお届けし、お客さまの安心で豊かな暮らしを支えます



大都市圏・地方中核都市
に集中展開

営業職員
約8,400人*

死亡・医療・介護保障を
中心とした総合生活保障

直接訪問

中高年・主婦層を中心とする
豊富な顧客基盤 **800万件***



C M『太陽生命が大切にしているもの』篇より

太陽生命の強み

- ✓ 家庭市場での強固な顧客基盤
- ✓ お客さまのニーズに応える、時代の変化を先取りした商品の提供
(ひまわり認知症予防保険など)
- ✓ シニアに優しいお客さまサービス
(「かけつけ隊サービス」など)

* 2019年3月末現在

■ 「保険組曲Best」、「ひまわり認知症予防保険」が好評

組み立て自由な保険
「保険組曲Best」

お客さまの希望に合わせて保障を選択

万一の保障
定期保険 など

3大疾病保障
特定疾病・疾病障害
保険 など

就業不能・
認知症・介護
働けなくなったときの
保険 など

医療保障
入院保険 など

保険料
払込免除
総合保険料
払込免除特約 など

資金準備
個人年金保険 など



ひまわり認知症**予防**保険

(2018年10月発売)

1

認知症予防サービスに活用できる
「予防給付金」をお支払い

2

認知症をダブルの保険金
(診断保険金、治療保険金)で保障*

3

シニアに多い所定の疾病等による
入院・手術などを保障

「100歳時代」シリーズ

* 「選択緩和型認知症診断保険」と「選択緩和型認知症治療保険」に両方加入のとき

主な取り組み

「健康寿命の延伸」という社会的課題にこたえるために「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽生命元気プロジェクト」を推進

- 国内初の「認知症予防アプリ」提供
- ユニバーサルマナー検定の導入、
認知症サポーターの全社配置により
シニアや障がいのあるお客様への
対応力を向上
- 認知症に関する、大学との共同研究

認知症予防アプリ

歩行速度を継続的に測定し、将来の認知症・MCI（軽度認知障害）のリスク予兆が発見された場合にご本人とご家族に通知



「かけつけ隊サービス」による給付金等の請求手続きをサポート

“かけつけ隊”キャラクター
いかなきゃット



■ 企業保障の新たな時代をリードします



CM『社長への手紙』篇より

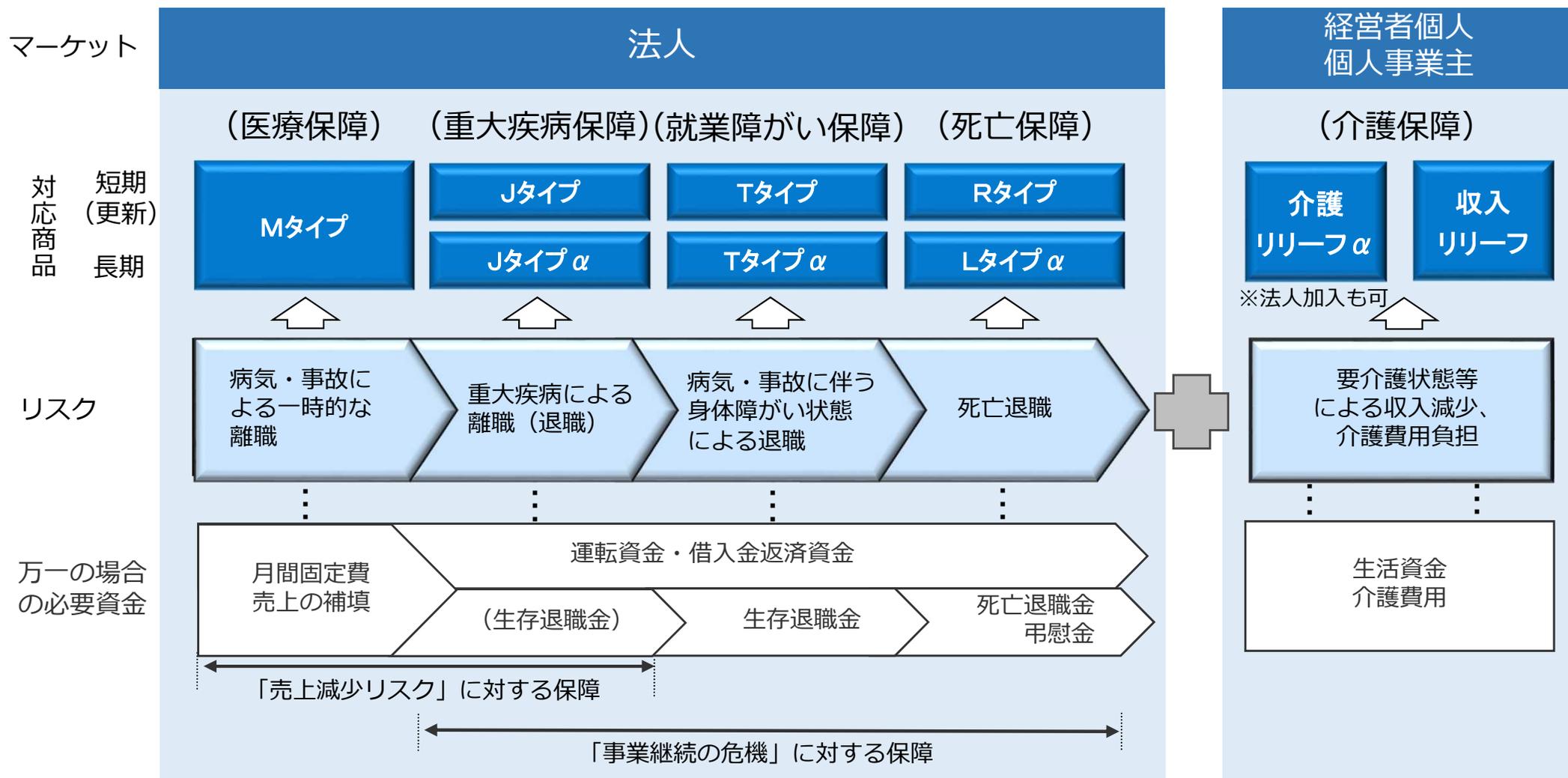
大同生命の強み

- ✓ 中小企業関連団体と提携等による、数多くの中小企業経営者との接点
- ✓ 充実した法人向け商品ラインアップや保障性商品の推進ノウハウ

* 2019年3月末現在 国内の企業数合計は約195万社 (2012経済センサス活動調査)

■ 中小企業と経営者を取り巻くさまざまなリスクに対し、“トータルな保障”でサポート

中小企業と経営者を守る充実した商品ラインアップ



主な取組み

経営支援

「DAIDO KENCO アクション」

健康経営セミナーの開催
Webサービス「KENCO SUPPORT PROGRAM」
の提供



中小企業による「健康経営®」の実践を支援することで、中小企業とそこに働く人々が生き活きと活躍できる社会づくりへの貢献を目指す

安否確認システム

地震等の災害発生時に、経営者が従業員の安否を確認できるシステムを無償提供

企業価値算定サービス

事業承継やM & Aなど、企業経営の判断に活用できるよう、ご契約企業の株式価値の概算額を算定し、無償提供

健康支援

介護に関する課題解決を支援

介護コンシェル

(余白)

- さまざまなお客さまのニーズに合わせた商品を販売



T&Dフィナンシャル生命の強み

- ✓ 乗合代理店市場への経営資源の集中
- ✓ 有力な金融機関等代理店を通じた保険商品の提供

* 2019年3月末現在

外国為替連動型 終身保険

無配当外国為替連動型終身保険(積立利率更改・通貨選択V型)



終身医療保険



無配当終身医療保険(無解約払戻金・II型)

メイン
ターゲット

- リタイアメント世代 (60歳台以上のアッパーマス層)

- 就労・子育て世代 (20~40歳台)

特徴

- 一時払終身保険
- 多様な運用ニーズに対応した資産形成型商品
- 死亡保険金を一時払保険料と同額の円で最低保証

- 平準払終身医療保険
- 幅広く八大生活習慣病を保障

主な
チャネル

- 金融機関等代理店

- 来店型保険ショップ代理店

3. 中期経営計画・業績動向

(2019年度～2021年度)



グループ 経営理念

Try & Discover（挑戦と発見）による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営理念の実践を通じて、グループの持続的成長を確かなものへ

共有価値の 創造

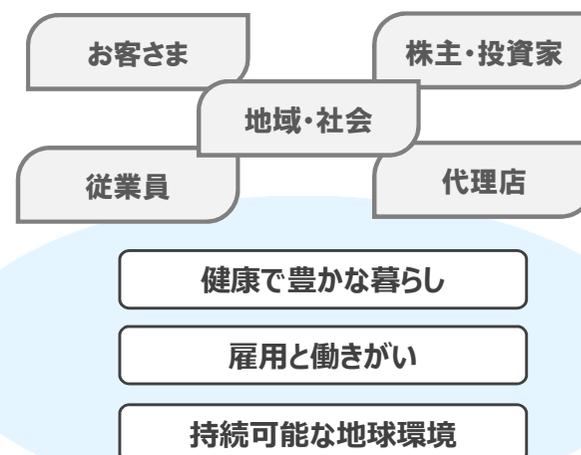
- ・ 絶えず変化する人と社会の課題（社会的課題）は、当社グループにとっては挑戦すべきビジネスチャンス
- ・ 社会的課題の解決という視点から、事業を通じて、①社会にとっての価値と、②企業にとっての価値の両方を創造

T & D保険グループの強みを活かした「共有価値の創造」の主なテーマ

共有価値の創造



すべてのステークホルダーの 満足度の増大



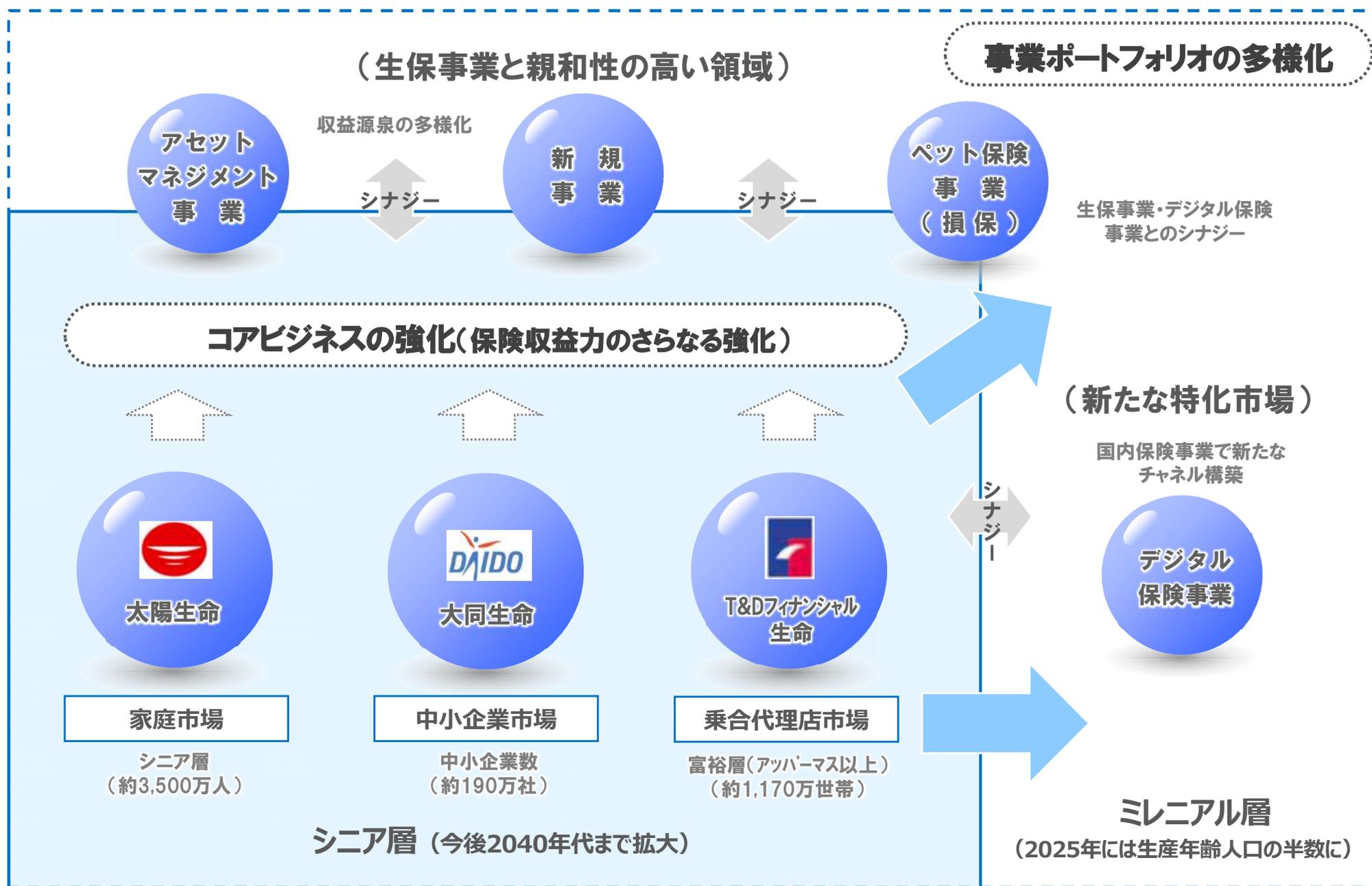
「 Try & Discover 2021 ～共有価値の創造～」

全体方針

「コアビジネスの強化」と「事業ポートフォリオの多様化」を通じ、
絶えず変化する人と社会の課題の解決に貢献することで、
社会とともに成長する保険グループをめざす

4つの基本戦略

- グループ各社の強みを活かした特化戦略の追求による、グループ収益基盤の強化
- 国内生保事業と親和性の高い事業領域への投資を通じた、収益源泉の多様化
- グループ財務戦略の進化による、グループ資本効率の向上
- グループ経営資源の効果的・効率的な活用に向けた、グループ一体経営の推進

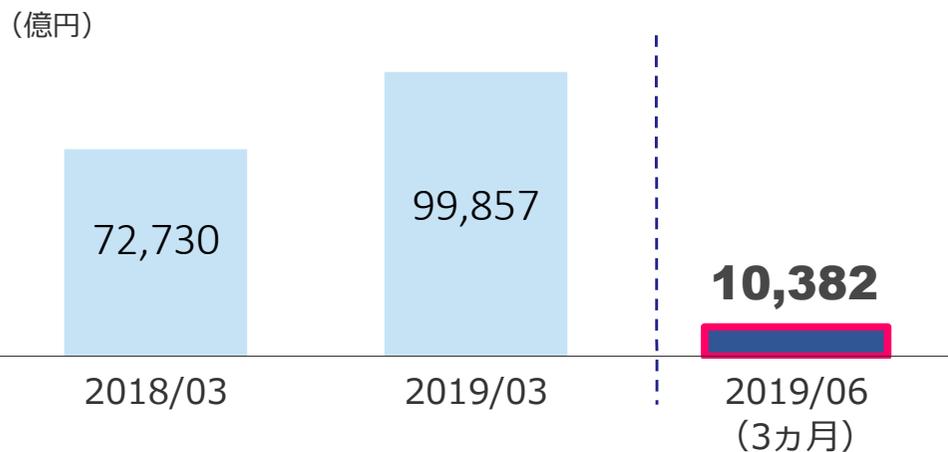


中計目標	経済価値	新契約価値	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：1,700億円以上 [コアROEV(*2)：3年を通じて年5.0%以上]
	財務会計	当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：2018年度水準(730億円)以上
(参考) 中長期的に 目指す水準	経済価値	Group MCEV*1	<ul style="list-style-type: none"> 次期中計期間：4.0兆円(2018年度末2.6兆円) [ROEV(*3)：中長期的に年7.5%を超える安定的・持続的な成長]
	財務会計	当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> 次期中計期間：1,000億円

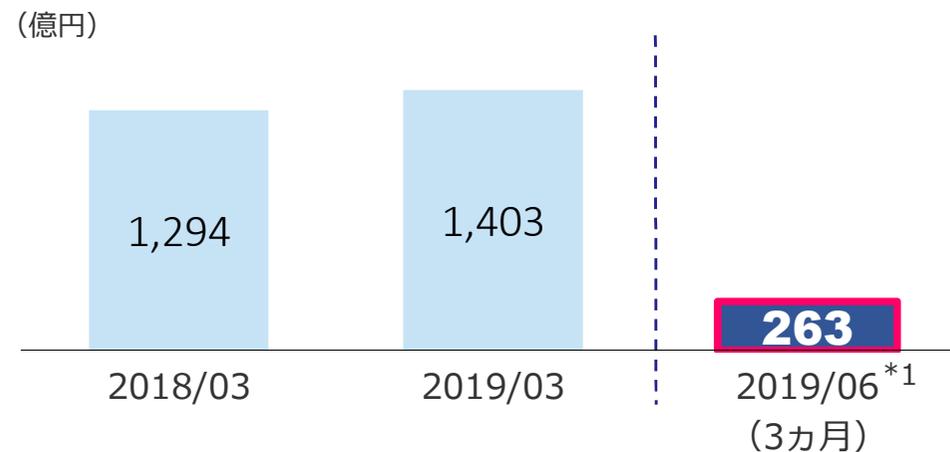
*1 T&D保険グループの市場整合的エンベディッド・バリュー(EV)。エンベディッド・バリューとは、生命保険会社の企業価値を評価する指標の1つで、現時点で保有している契約から得られる将来の利益」と「株主資本に実質的な資本とみなせる負債の一部等を加えた資産価値」の合計。

*2 (新契約価値＋リスクフリーレート部分の期待収益)／EVの平均残高 *3 EV増加額(資本増減等を控除)／EVの平均残高

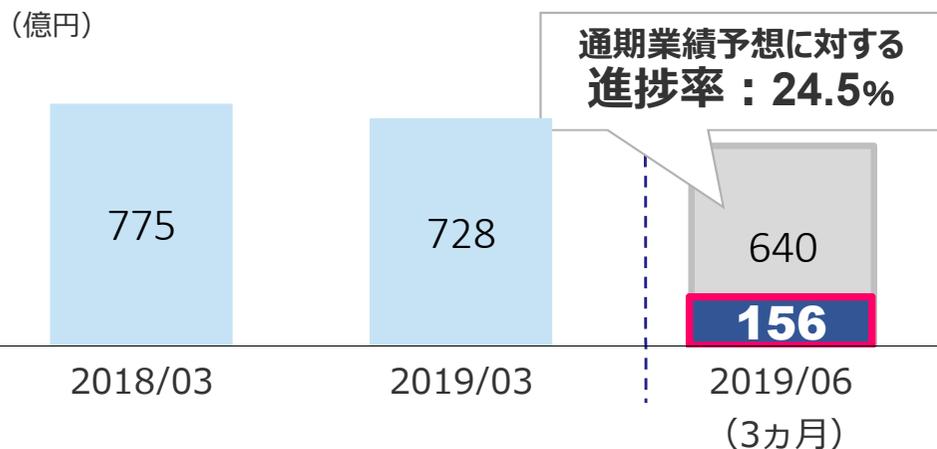
新契約高



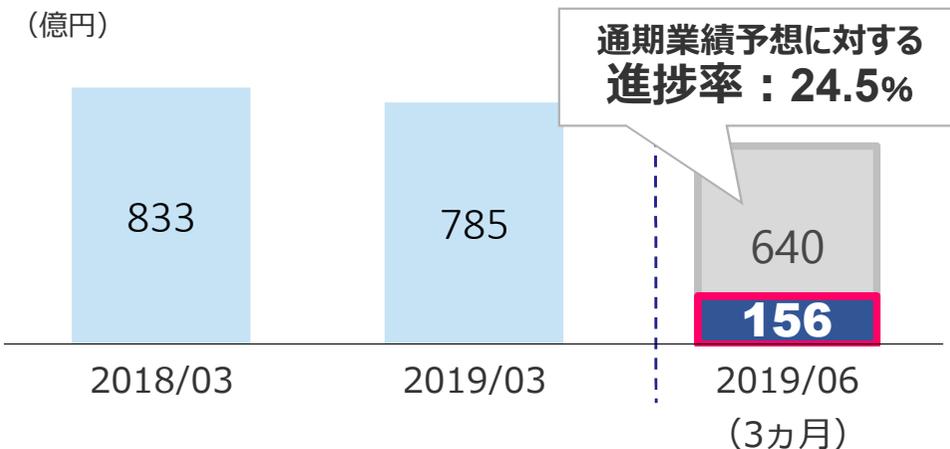
新契約価値 [新契約の将来にわたる価値の総和]



親会社株主に帰属する当期純利益



実質利益*2

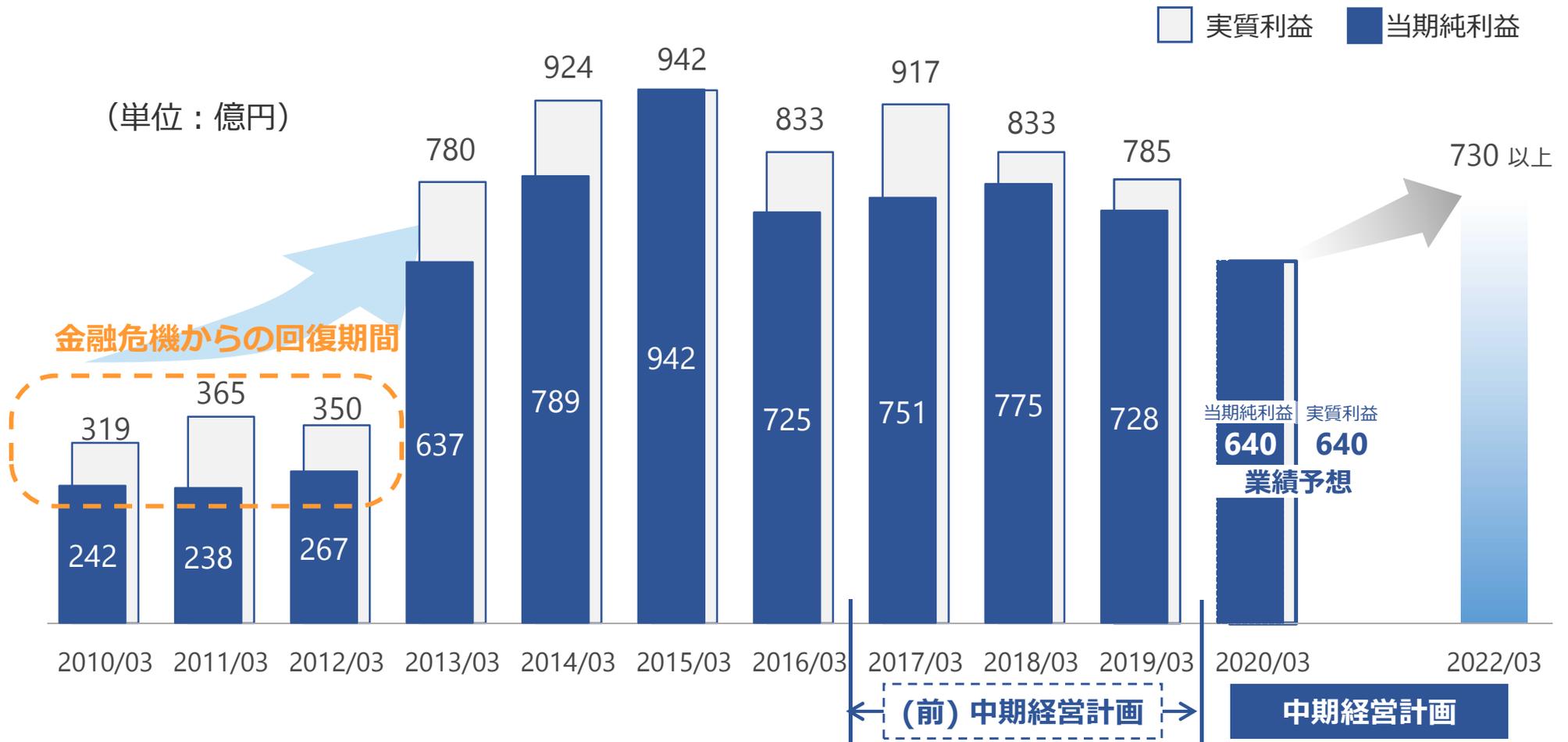


*1 今期より新契約価値の算出基準を一部変更

*2 実質利益 = ①当期純利益 + ②将来のリスクに備える一部の準備金 (税引後)
②は、危険準備金および価格変動準備金の法定基準を超える繰入額。

当期純利益・実質利益の推移

- 中計の各種戦略を通じて利益を着実に増加させ、最終年度（2021年度）において、当期純利益は、前中計最終年度（2018年度）以上の水準を目指す

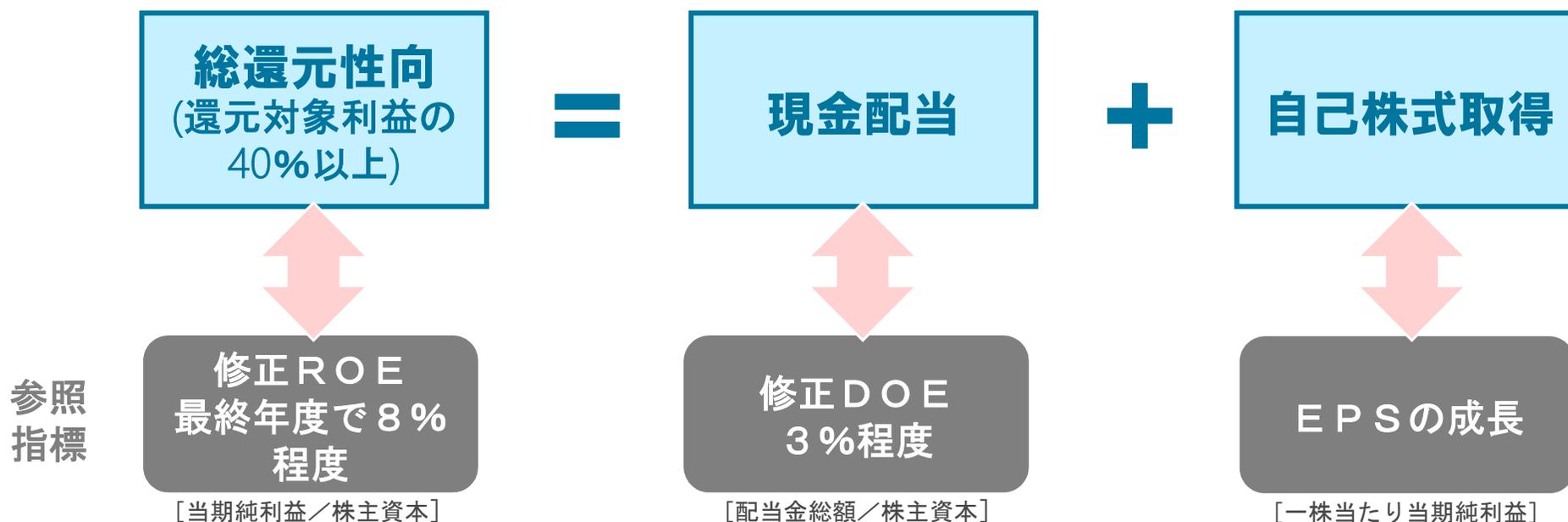


* 実質利益 = ①当期純利益 + ②将来のリスクに備える一部の準備金（税引後）
 ②は、危険準備金および価格変動準備金の法定基準を超える繰入額。

4. 株主還元

- 当社およびグループ会社の経営の健全性に留意し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで、株主価値の向上に取り組み、安定的な利益配分を実施

＜基本的な考え方＞

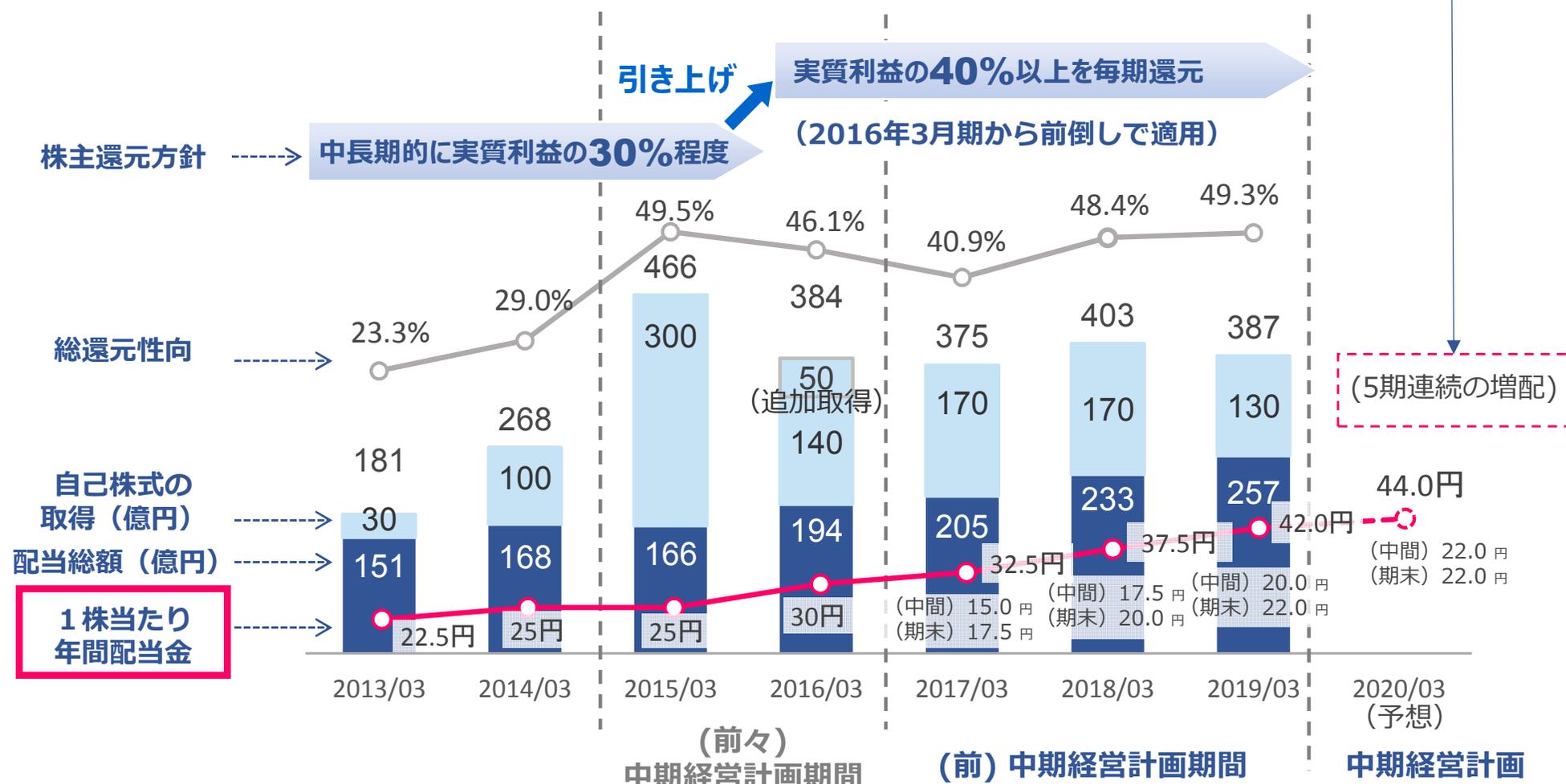


- 総還元性向は、資本効率性（修正ROE）を踏まえ、柔軟に決定。（ただし、還元対象利益の40%以上を確保）
- 現金配当は、修正DOEを目安に安定的・持続的な増配を目指す。
- 自己株式取得は、総還元額を踏まえつつ、EPSの水準を勘案し、実施金額を決定。

T&D 株主還元拡充に向けた取組み

T&D保険グループ

- 2016年3月期より、前中期経営計画の策定にあわせ株主還元水準を引き上げ
- 1株あたり配当金は、2013年3月期の22.5円から2019年3月期は42.0円と安定的に増加
- 2020年3月期は、2019年3月期から2.0円増配の44.0円へ



5.まとめ

- 生命保険3社が、それぞれ特化マーケットに応じた最適なチャネルを通じ、最適な商品・サービスを一体的に提供する
「独自性」と「専門性」の高さが強み
- 2019年度第1四半期の業績は通期予想に沿った進捗
- **連続増配や自己株式の取得**など、株主還元を充実

6. 参考資料

T&D 第2回 “Try & Discoverフォトコンテスト”

T&D保険グループ

「Try & Discover（挑戦と発見）」をテーマとしたフォトコンテストを開催中
みなさまの挑戦（Try）と発見（Discover）をする姿を応援することで、より多くの方々と
つながっていききたいという思いから作品を募集しています。



応募方法 Facebook, Instagram, または Webより

詳しくはこちらからご覧ください▶



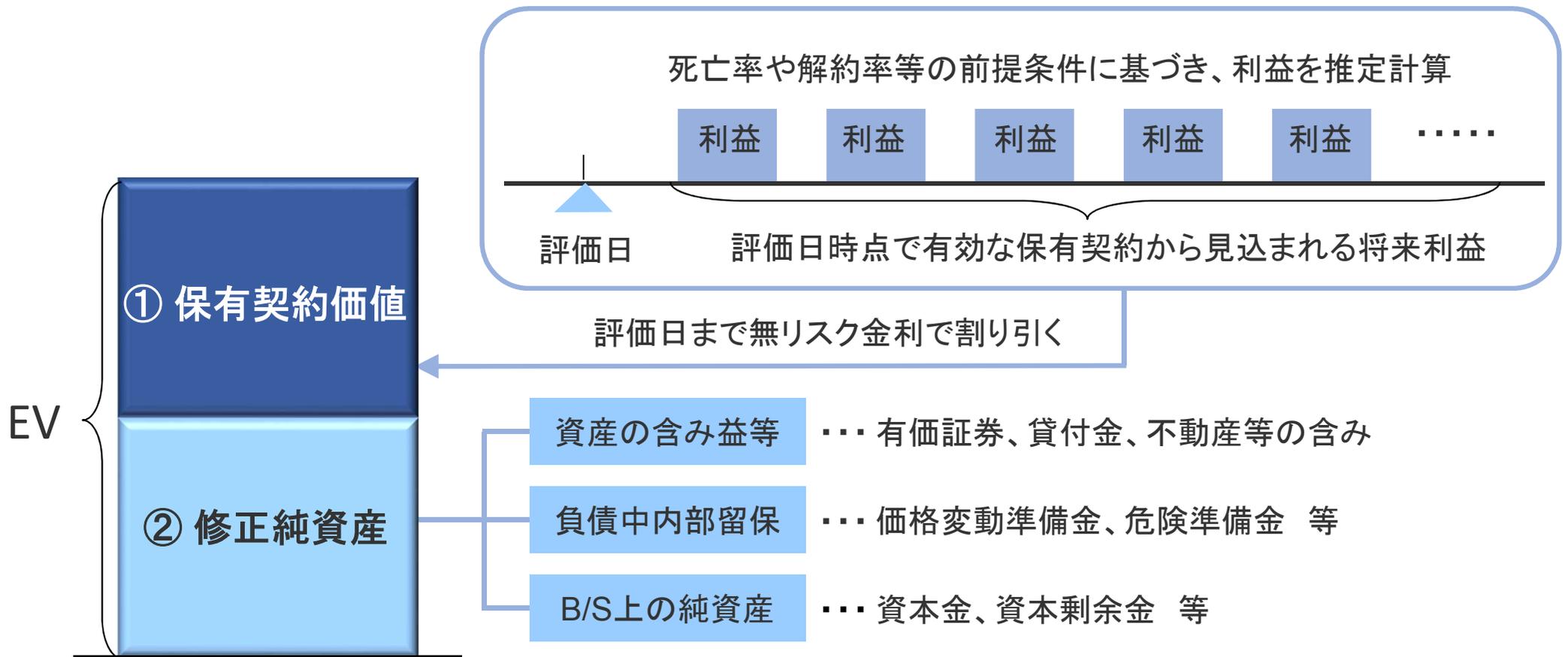
応募期間 開催中～2019年10月1日（火）

※本コンテストの主催は、株式会社T & Dホールディングス、運営業務は東京カメラ部株式会社が行います。
お問い合わせ先：T & Dホールディングス広報部（TEL 03-3272-6115 平日9:00-17:00 [祝日除く]）

エンベディッド・バリュー（EV）とは

■ EV（エンベディッド・バリュー）とは、生命保険会社の評価日時点での企業価値（時価）を推定計算したもの

$$EV = \text{① 保有契約価値} + \text{② 修正純資産}$$



◎今後10年を見据えた環境変化

社会環境

- ・ 少子高齢化の進行、人口の減少
- ・ 年金・医療・介護における自助努力ニーズの高まり

経済・金融環境

- ・ 低金利の継続と将来の金利上昇リスクの可能性の両面での対応

業界・規制環境

- ・ 標準生命表の改定、経済価値ベースの健全性指標の導入

技術革新

- ・ 医療技術の進歩、ビッグデータや人工知能(AI)などのデジタル革新

◎本中期経営計画の重点課題

コアビジネスの強化

- ・ お客さま・社会のニーズに適切にお応えする、商品・サービス・販売チャネルの進化
- ・ 低金利環境が長期化するなかでの、保険関係収益力のさらなる強化
- ・ 新たなIT技術等も活用した、生産効率性の向上

事業ポートフォリオの多様化

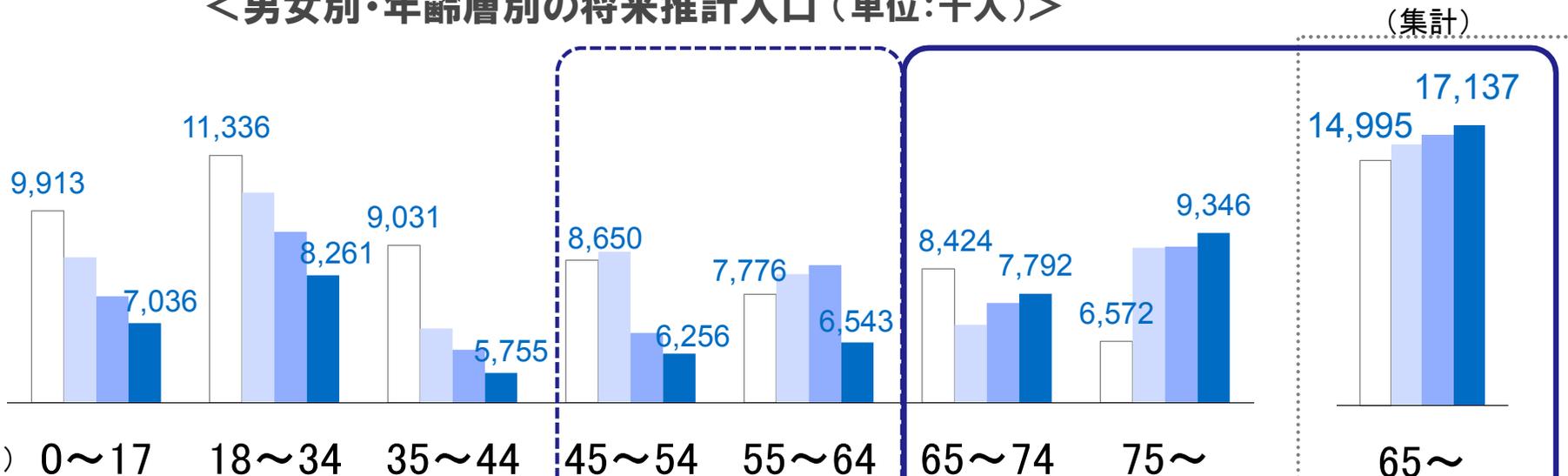
- ・ 国内生保市場における、新たな特化市場・チャネルの構築
- ・ 生保事業と親和性の高い事業領域への展開、外部成長の取込み

グループ一体経営の推進

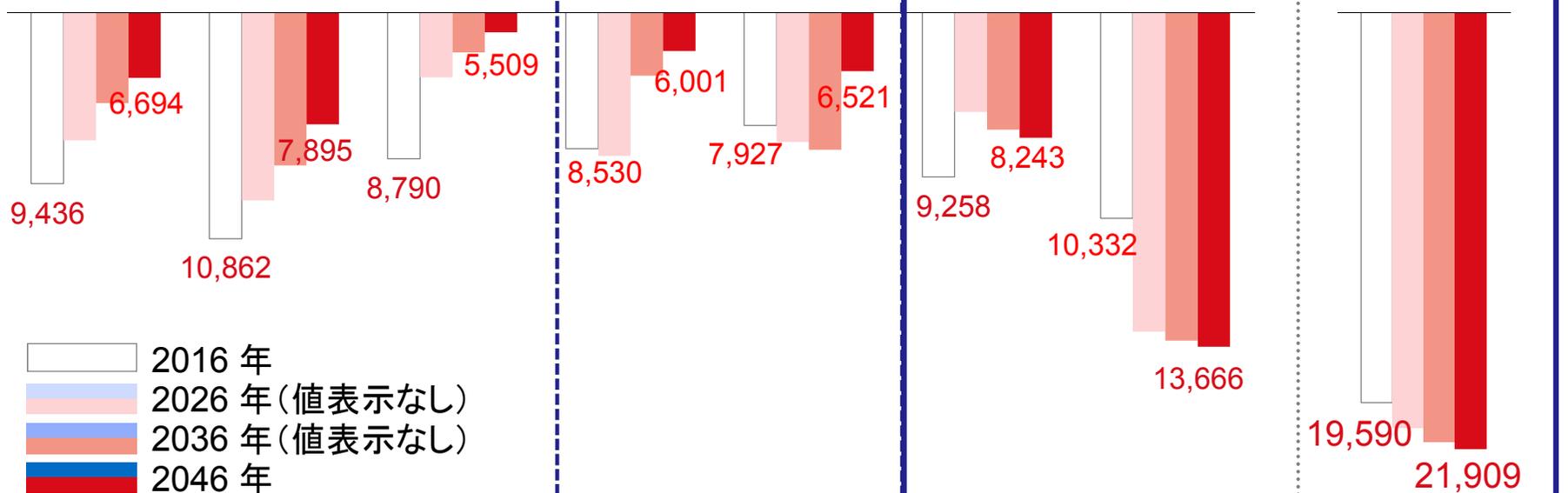
- ・ グループ資本の効率的活用
- ・ グループシナジーのさらなる発揮

<男女別・年齢層別の将来推計人口（単位：千人）>

男性



女性



2016年
 2026年(値表示なし)
 2036年(値表示なし)
 2046年

シニアに向かう層
(今後10年は増加傾向)

シニア層
(増加傾向が継続)

[出典] 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」
(出生中位（死亡中位）推計）を加工して作成

太陽生命

65歳以上人口の将来推計 (*1)



65歳以上単独世帯数の将来推計 (*2)

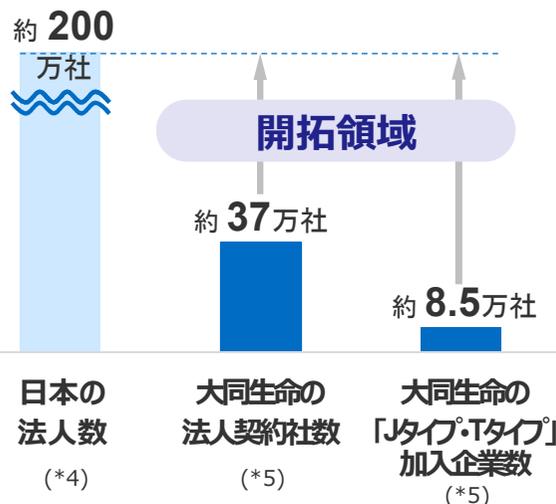


社会保障に係る費用の将来推計 (*3)



大同生命

法人契約市場



個人契約市場

経営者個人に加え、
200万 (*4)を超える個人事業主

開拓領域

T&Dフィナンシャル生命

1世帯当たり貯蓄現在高 (二人以上の世帯) (*6)



最近5年以内に銀行を通じて生保に加入した割合 (*7)

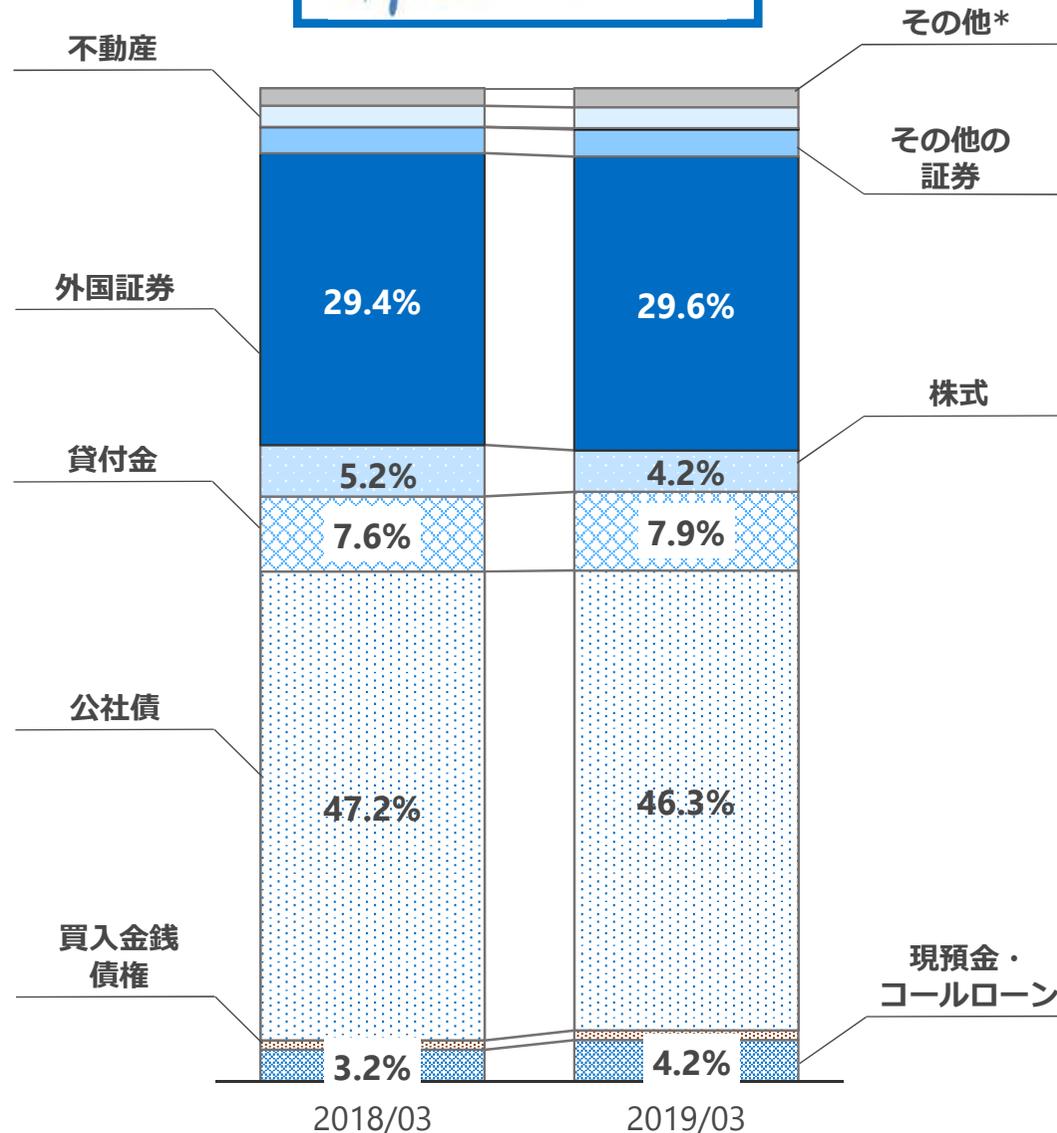
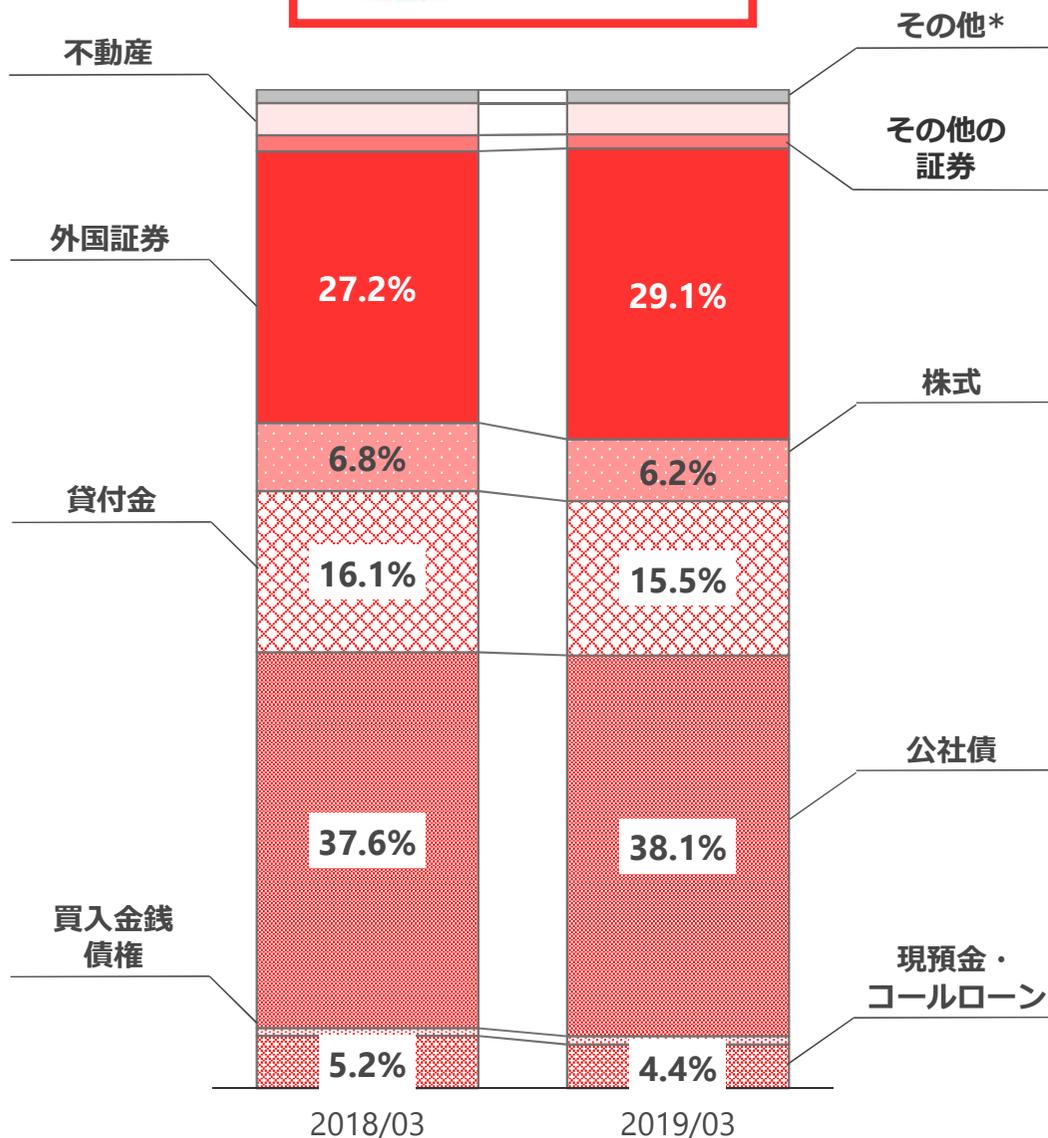


来店型保険ショップの 新規契約件数 (*8)



* 各データの出典は、P 40に掲載。

	本資料上のデータ名	出典
*1	65歳以上人口の将来推計	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位（死亡中位）推計）
*2	65歳以上単独世帯数の将来推計	国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（2013年1月推計）」
*3	社会保障に係る費用の将来推計	厚生労働省「社会保障に係る費用の将来推計の改定（平成24年3月）」
*4	日本の法人数、個人事業主数	総務省「平成26年経済センサス基礎調査（確報）」
*5	大同生命の法人契約者数、大同生命の「Jタイプ・Tタイプ」加入企業数	大同生命の2018年度末実績
*6	1世帯当たり貯蓄現在高（二人以上の世帯）	総務省「家計調査報告（貯蓄・負債編）－2018年（平成29年）平均結果－（二人以上の世帯）」（2019年5月17日発表）
*7	最近5年以内に銀行を通じて生保に加入した割合	一般社団法人 全国銀行協会「銀行による保険窓販に関する消費者アンケート 調査結果 報告書（2017年2月）」
*8	来店型保険ショップの新規契約件数	株式会社 矢野経済研究所「来店型保険ショップ市場に関する調査結果を実施（2018年）」（2018年6月12日発表）



*その他資産：繰延税金資産など

資産構成（連結）

(億円)

	2018年 3月末	2019年 3月末	増減額
資産の部			
現預金・コール	7,870	8,252	+382
買入金銭債権	1,175	1,269	+93
金銭の信託	6,858	7,654	+796
有価証券	113,770	117,353	+3,583
貸付金	16,486	16,669	+213
有形固定資産	3,632	3,694	+62
無形固定資産	268	284	+16
その他資産	2,091	2,174	+82
繰延税金資産	447	549	+101
貸倒引当金	▲ 15	▲ 15	▲ 0
資産合計	152,623	157,947	+5,323

(億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減額
経常収益	19,283	21,401	+2,118
保険料等収入	14,837	16,761	+1,924
資産運用収益	3,727	3,939	+211
うち利息及び配当金等収入	2,854	2,958	+103
うち有価証券売却益	784	888	+104
うちその他運用収益	27	24	▲2
うち特別勘定資産運用益	59	2	▲56
その他経常収益	718	700	▲17
経常費用	17,718	19,932	+2,213
保険金等支払金	11,461	11,416	▲45
責任準備金等繰入額	2,628	4,696	+2,067
資産運用費用	962	1,122	+159
うち有価証券売却損	180	168	▲12
うち有価証券評価損	61	31	▲30
うち金融派生商品費用	456	656	+199
うちその他運用費用	162	176	+14
事業費	2,023	2,015	▲8
その他経常費用	641	680	+39
経常利益	1,564	1,469	▲95
特別損益	▲164	▲178	▲14
契約者配当準備金繰入額	303	271	▲31
税金等調整前当期純利益	1,096	1,019	▲77
法人税等合計	320	290	▲29
親会社株主に帰属する当期純利益	775	728	▲47
包括利益	932	485	▲446

・太陽生命：+2,032億円
・大同生命：+371億円

・太陽生命：+58億円
・大同生命：+36億円

・太陽生命：▲54億円
・大同生命：+158億円

・太陽生命：+150億円
・大同生命：+85億円

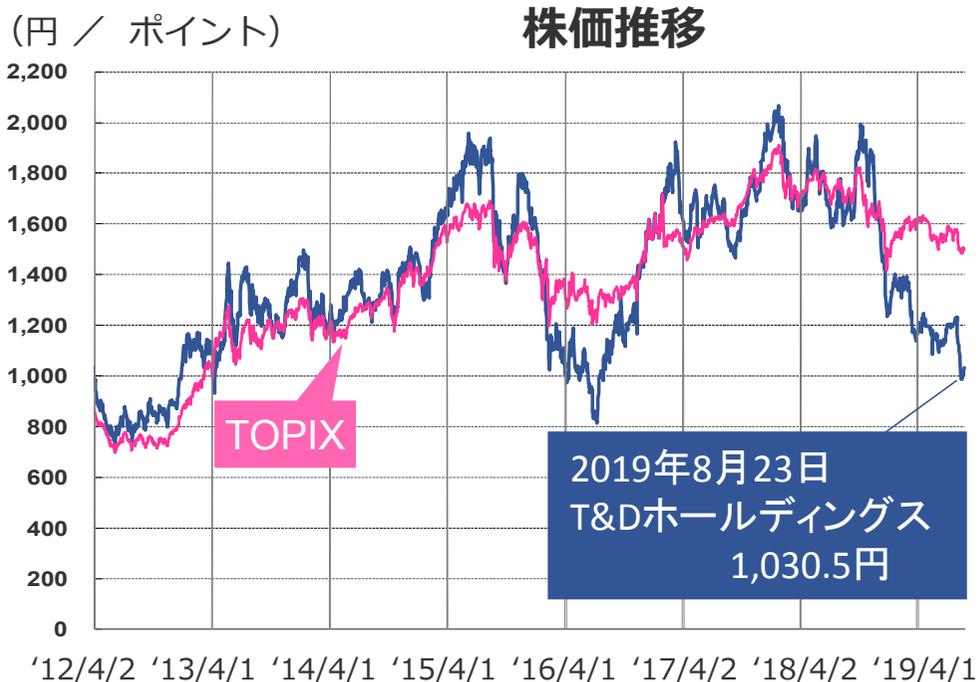
主に為替ヘッジコストの増加によるもの

価格変動準備金繰入額：154億円

・太陽生命：36億円（前期比+3億円）
※超過繰入はゼロ（同±0億円）
・大同生命：112億円（前期比+1億円）
※うち超過繰入80億円（同±0億円）

T&D T&Dホールディングスの株価推移と時価総額

T&D保険グループ



<全銘柄>

- 181 AGC
- 182 ヒューリック
- 183 鹿島
- 184 T&Dホールディングス
- 185 コナミホールディングス
- 186 日本マクドナルドホールディングス
- 187 ミスミグループ本社

金融機関時価総額順位 (2019年8月23日)

順位	社名	時価総額 (億円)
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	68,666
2	三井住友フィナンシャルグループ	48,568
3	ゆうちょ銀行	43,740
4	みずほフィナンシャルグループ	39,332
5	東京海上ホールディングス	39,227
6	オリックス	20,346
7	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	20,308
8	第一生命ホールディングス	17,167
9	SOMPOホールディングス	15,605
10	野村ホールディングス	14,341
11	三井住友トラスト・ホールディングス	13,416
12	ソニーフィナンシャルホールディングス	10,672
13	りそなホールディングス	9,552
14	日本取引所グループ	8,737
15	かんぽ生命保険	8,399
16	大和証券グループ本社	7,698
17	T & Dホールディングス	6,749
18	アコム	5,970
19	三菱UFJリース	5,186
20	SBIホールディングス	5,142

*銀行・証券・リース・保険等が対象

生命保険業を営むグループとして、社会とともに持続的に成長を遂げ、「公共的使命」と「社会的責任」を果たすため、様々な取組みを実施

健康と福祉の向上



グループ献血活動



障がい者スポーツへの協賛支援

地球環境の保護



森林保全活動

健全な社会の発展



全国中学生ラグビーフットボール大会への特別協賛



寄付による大学でのオープン講座



日本ろう者サッカー協会とのオフィシャルパートナー協定締結

* T&D保険グループ各社の取組みを掲載しております

T & Dホールディングス IRサイト

<https://www.td-holdings.co.jp/ir/>



The screenshot shows the IR website with a navigation menu including '株主・投資家の皆さま', '企業情報', 'CSR', and 'ニュースリリース'. The main content area features a '株主・投資家の皆さま' header, a 'トップメッセージ' section with a photo of a man, and a '株価' (Stock Price) table.

株価 (リアルタイム) 東証一部 8795	
09月02日現在 (出来高は20分遅れ)	
取引額 (11:08)	¥1,043.0
前日比	+8.5(+0.82%)
出来高 (10:48)	365,800

Additional text on the page includes 'T&D保険グループ 中期経営計画 (2019-2021年度)' and 'Try & Discover 2021 ~共有価値の創造~'.

T & Dホールディングス Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/td.holdings.Inc/>



The screenshot shows the Facebook page with a cover photo featuring a group of diverse people and the text 'さあ、保険の新次元へ。'. The page includes a profile picture, a bio, and a '写真' (Photos) section with a photo of a white cat climbing a tree. The 'Our Story' section contains text about the company's mission and Facebook usage.

Our Story
ご訪問いただきありがとうございます。T & D保険グループを身近に感じていただけるよう、様々な情報を発信しています。ご利用にあたっては、Facebook利用規約をご確認ください。さらに表示

本資料に関するお問い合わせ先

T & Dホールディングス
経営企画部 IR課
電話 : 03 (3272) 6103

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。